

2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月13日

上場会社名 株式会社ダイキアキス 上場取引所 東
 コード番号 4245 URL <http://www.daiki-axis.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大亀 裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 副社長執行役員 (氏名) 堀淵 昭洋 (TEL) 089(927)2222
 四半期報告書提出予定日 2019年5月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	9,750	0.3	470	23.1	513	21.4	302	25.3
2018年12月期第1四半期	9,722	3.3	382	△32.0	423	△26.4	241	△31.2

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 305百万円(177.0%) 2018年12月期第1四半期 110百万円(△69.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	25.22	—
2018年12月期第1四半期	20.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	27,960	6,873	24.6
2018年12月期	27,036	6,717	24.8

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 6,873百万円 2018年12月期 6,717百万円

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期の連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2018年12月期第2四半期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 2円00銭
 2018年12月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 2円00銭

3. 2019年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,200	4.4	670	35.9	720	20.7	440	38.6	36.70
通期	36,880	1.8	1,200	30.0	1,300	18.1	800	△7.1	66.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	12,408,800株	2018年12月期	12,408,800株
② 期末自己株式数	2019年12月期1Q	418,798株	2018年12月期	418,798株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	11,990,002株	2018年12月期1Q	11,986,048株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、BBT信託及びJ-ESOP信託が保有する当社株式数が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、(2)財政状態に関する説明については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(1) 経営成績に関する説明

① 当社グループの経営成績

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	97億22百万円	97億50百万円	+27百万円	+0.3%
営業利益	3億82百万円	4億70百万円	+88百万円	+23.1%
経常利益	4億23百万円	5億13百万円	+90百万円	+21.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2億41百万円	3億2百万円	+61百万円	+25.3%

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済・金融政策を背景に雇用・所得環境や企業収益の改善がみられ、緩やかな回復基調が続いております。一方、海外においては、通商問題などの影響による景気の下振れリスク等、不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、2019年度から2021年度の中期経営計画「Make FOUNDATION Plan(ESG 経営の推進)」を策定し挑戦することといたしました。

まず最初に、ガバナンス強化と業務執行の迅速化のため、経営機構改革として監査等委員会への移行と執行役員制度の導入を行いました。

また、主な事業戦略としては、将来の収益性の向上に重点を置き、環境機器関連事業セグメントにおいては、海外における事業展開の推進、ストックビジネスとしてのメンテナンス事業及び上水エスコ事業の営業強化、住宅機器関連事業セグメントにおいては、ECビジネスを開始するなど安定事業から成長事業への転化、再生可能エネルギー関連事業においては、循環型社会の実現と安定収益確保の強化を実施してまいりました。

② セグメントごとの経営成績

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(環境機器関連事業)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	48億32百万円	56億68百万円	+8億35百万円	+17.3%
セグメント利益(営業利益)	4億16百万円	5億56百万円	+1億40百万円	+33.7%

浄化槽排水処理システムは前年同期と比べ増加いたしました。要因として、国内売上高では、大型案件(電気部品工場)の工事進行基準適用により概ね売上高を計上したこと、また、上水事業(エスコを除く)で機器売り5案件の完成があったことなど、前年同四半期と比べ増加いたしました。海外売上高については、前中期経営計画から戦略として進めていた代理店開拓が前進しつつあるなど前年同四半期と比べ増加いたしました。なお、インド製浄化槽については第2四半期連結累計期間からの販売見込となっております。

ストックビジネスのメンテナンス事業及び上水事業エスコ収入については前年同期と比べ増加いたしました。

(住宅機器関連事業)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	43億65百万円	35億23百万円	△8億41百万円	△19.3%
セグメント利益(営業利益)	1億64百万円	89百万円	△74百万円	△45.5%

一般的に予算並みの推移ではあるものの前年同期と比べ減少いたしました。減少理由として、建設関連業者売上においては前期と比べ中大型案件が少なく、ホームセンターリテール商材においては既存店への販売が減少したこと、また、住機部門工事においては前期の大型店舗建築工事と同規模の案件がなかったことによります。

(再生可能エネルギー関連事業)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	40百万円	1億14百万円	+74百万円	+184.5%
セグメント利益(営業利益)又は セグメント損失(営業損失)(△)	△56百万円	22百万円	+79百万円	-%

太陽光発電に係る売電事業において、順次売電を開始し前年同四半期より大幅に増加いたしました。その他、バイオディーゼル燃料事業においては、前年同期と比べバイオディーゼル燃料の販売が増加いたしました。なお、小形風力発電機関連事業については、販売実績はありませんでしたが、第2四半期連結会計期間での風力発電に係る売電開始に向けた取り組みを行っております。

(その他の事業)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	4億84百万円	4億43百万円	△41百万円	△8.6%
セグメント利益(営業利益)	62百万円	30百万円	△31百万円	△50.9%

土木事業において、前連結会計年度は第2四半期連結会計期間から工事進行基準を適用しております。当第1四半期連結累計期間は、前年同期の大型案件規模の完成がなく、また、他の大型案件においても工事進捗の遅れによる売上計上が下半期以降にズレ込んだことなどあり、前年同期と比べ減少いたしました。家庭用飲料水事業については、ほぼ前年同期並みに推移しています。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

	前連結会計年度	当第1四半期 連結会計期間	増減額	増減率
流動資産	187億63百万円	192億35百万円	+4億72百万円	+2.5%
固定資産	82億72百万円	87億24百万円	+4億51百万円	+5.5%
資産合計	270億36百万円	279億60百万円	+9億23百万円	+3.4%

(主な増減理由)

科目	増減額	理由
完成工事未収入金	+4億43百万円	主に、大型案件(電気部品工場)の施工によるものであります。
機械装置及び運搬具	+1億48百万円	主に、当第1四半期連結累計期間において系統連系が完了し稼働を開始した太陽光発電に係る売電事業のための設備による増加であります。
建設仮勘定	+3億35百万円	主に、当第1四半期連結会計期間末において施工途中又は系統連系が未完了である太陽光発電に係る売電事業のための設備による増加であります。

② 負債・純資産

	前連結会計年度	当第1四半期 連結会計期間	増減額	増減率
流動負債	188億63百万円	197億3百万円	+8億39百万円	+4.5%
固定負債	14億54百万円	13億83百万円	△71百万円	△4.9%
純資産	67億17百万円	68億73百万円	+1億55百万円	+2.3%
負債・純資産合計	270億36百万円	279億60百万円	+9億23百万円	+3.4%

(主な増減理由)

科目	増減額	理由
短期借入金	+13億86百万円	主に、太陽光発電設備の設置工事によるコミットメントライン契約の借入れを増額したことによるものであります。
未払法人税等	△3億2百万円	納税による減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月14日に公表いたしました2019年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,013,630	6,122,352
受取手形及び売掛金	6,303,017	6,741,798
完成工事未収入金	2,927,820	3,371,763
商品及び製品	302,065	365,384
仕掛品	17,477	25,668
未成工事支出金	2,394,603	1,840,679
原材料及び貯蔵品	284,235	274,738
その他	590,296	567,603
貸倒引当金	△69,492	△74,235
流動資産合計	18,763,654	19,235,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,812,760	1,815,990
減価償却累計額	△579,207	△600,020
建物及び構築物（純額）	1,233,552	1,215,969
機械装置及び運搬具	5,582,530	5,796,373
減価償却累計額	△2,261,309	△2,327,030
機械装置及び運搬具（純額）	3,321,220	3,469,343
土地	1,449,883	1,450,603
建設仮勘定	266,406	602,060
その他	599,840	642,277
減価償却累計額	△533,090	△543,242
その他（純額）	66,750	99,035
有形固定資産合計	6,337,813	6,837,012
無形固定資産		
のれん	507,406	482,670
その他	39,707	52,052
無形固定資産合計	547,113	534,723
投資その他の資産		
投資有価証券	360,329	382,534
その他	1,234,232	1,176,473
貸倒引当金	△206,533	△206,045
投資その他の資産合計	1,388,027	1,352,962
固定資産合計	8,272,954	8,724,698
資産合計	27,036,608	27,960,452

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,118,412	2,112,498
工事未払金	2,206,518	2,139,995
短期借入金	10,336,152	11,722,654
1年内返済予定の長期借入金	387,252	385,856
未払法人税等	480,155	177,634
未成工事受入金	1,500,887	1,487,903
賞与引当金	196,832	192,113
引当金	157,712	89,772
その他	1,480,039	1,395,306
流動負債合計	18,863,963	19,703,733
固定負債		
長期借入金	286,953	190,286
引当金	138,531	150,501
資産除去債務	226,285	260,657
その他	802,977	782,117
固定負債合計	1,454,747	1,383,563
負債合計	20,318,711	21,087,296
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,983,290	1,983,290
資本剰余金	1,766,394	1,766,394
利益剰余金	3,401,220	3,553,873
自己株式	△306,752	△306,752
株主資本合計	6,844,152	6,996,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13,302	2,885
為替換算調整勘定	△112,952	△126,534
その他の包括利益累計額合計	△126,254	△123,649
純資産合計	6,717,897	6,873,156
負債純資産合計	27,036,608	27,960,452

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
売上高	9,722,562	9,750,171
売上原価	7,927,507	7,807,113
売上総利益	1,795,055	1,943,058
販売費及び一般管理費	1,412,581	1,472,338
営業利益	382,474	470,719
営業外収益		
受取利息	962	872
受取配当金	130	490
仕入割引	37,671	43,159
持分法による投資利益	2,704	—
補助金収入	11,656	—
その他	9,060	19,947
営業外収益合計	62,185	64,469
営業外費用		
支払利息	8,092	9,717
持分法による投資損失	—	4,422
貸倒引当金繰入額	△190	△151
支払手数料	8,609	5,416
その他	4,975	1,917
営業外費用合計	21,486	21,322
経常利益	423,172	513,866
特別利益		
固定資産売却益	691	1,069
その他	18	1
特別利益合計	710	1,071
特別損失		
固定資産除却損	6,392	0
投資有価証券売却損	—	3,000
特別損失合計	6,392	3,000
税金等調整前四半期純利益	417,491	511,936
法人税、住民税及び事業税	169,167	152,545
法人税等調整額	6,950	56,945
法人税等合計	176,118	209,491
四半期純利益	241,373	302,445
親会社株主に帰属する四半期純利益	241,373	302,445

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	241,373	302,445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△128,263	16,188
為替換算調整勘定	△2,997	△14,249
持分法適用会社に対する持分相当額	—	666
その他の包括利益合計	△131,261	2,605
四半期包括利益	110,111	305,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110,111	305,051

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」企業会計基準第28号(平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	環境機器 関連	住宅機器 関連	再生可能 エネルギー 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,832,430	4,365,150	40,360	9,237,941	484,621	9,722,562
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,902	1,094	26	5,024	28	5,052
計	4,836,333	4,366,245	40,386	9,242,965	484,650	9,727,615
セグメント利益 又は損失(△)	416,630	164,498	△56,541	524,587	62,599	587,187

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家庭用飲料水事業及び土木工事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	524,587
「その他」の区分の利益	62,599
セグメント間取引消去	40,411
全社費用(注)	△245,124
四半期連結損益計算書の営業利益	382,474

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、フジムラインベント株式会社(現、株式会社DAインベント)の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことに伴い、「環境機器関連」セグメントにおいてのれんが108,157千円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	環境機器 関連	住宅機器 関連	再生可能 エネルギー 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,668,385	3,523,930	114,804	9,307,121	443,050	9,750,171
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,381	52	218	2,652	52	2,705
計	5,670,766	3,523,983	115,023	9,309,773	443,102	9,752,876
セグメント利益 又は損失(△)	556,966	89,689	22,577	669,234	30,731	699,965

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家庭用飲料水事業及び土木工事業を含んでおります。なお、前連結会計年度末より「クリクラ事業」を「家庭用飲料水事業」に名称変更いたしました。また、前第1四半期連結累計期間の名称は変更後の名称に基づき表示しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	669,234
「その他」の区分の利益	30,731
セグメント間取引消去	42,270
全社費用(注)	△271,516
四半期連結損益計算書の営業利益	470,719

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。